学生時代に力を入れた経験

大学時代、学園祭において演劇チームのリーダーを務め、15人のメンバーを率いて受賞した経験です。その際に、今までのチームリーダーとしての経験が乏しく、どこから手を付けるべきか明確ではありませんでした。そこで、教員や先輩との相談と過去の成功例を参考に、まず脚本作成から始め、チーム編成、練習スケジュールの作成と進めていきました。実際に練習段階に入ると、メンバーが多くいるため全員の時間調整が難しいことと、チームメンバーが脚本への理解にばらつきがあるという2つの課題に直面しました。そこで、私は以下の2つの解決策をメンバーに提案しました。まず、時間調整については全員のスケジュールをヒアリングした上で、演劇のシーンごとにチーム分けをし、シーンごとの練習時間を確保するように努力しました。次に、脚本について打ち合わせ会を開催し、脚本に対する共通認識を図った上で、出た意見をもとに作品をさらに洗練させました。これらの対策により、最終的に演劇を成功させ、受賞することができました。上記のこの経験を通じて、周囲を巻き込む際に、リーダーとしてメンバーの意見を傾聴することの重要性を学びました。また、チーム全員が一丸となり、一つの目標に向かって努力することが大きな成果に繋がることも深く理解しました。